

主要な施策の成果（「汗動・協働・創造」 粋事業）

【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	2款 総務費				
事業名	オープンデータ利活用推進事業費				
担当課	情報政策課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	震災復興 特別交付税	その他	一般財源
3,340		3,340			

説明

- 総務省による「ICT街づくり推進事業」として選定された「地域公共ネットワーク基盤構築事業」で構築したICTサービスプラットフォーム「DATA for CITIZEN（以下「D4C」という。）」を地域の共通基盤とし、地域住民、民間企業、大学等学術機関と連携・協働し合いながら、有益なデータやサービスの創出に取り組みました。

【車両走行情報の収集】

道路パトロール車及び市内循環バス、鉄道の走行情報と位置情報をD4Cに蓄積し、データ活用事例の創出を行いました。

- ・ビッグデータの蓄積
- ・会津大学と連携したアナリティクス人材育成
- ・ロケーションサービス等公共交通へ応用可能な機能の検証
- ・センサーデータの活用による道路パトロール日報帳票の電子化
- ・道路の劣化診断、補修管理の根拠データとしての活用検討

<<事業全体イメージ>>

D4Cを核として、誰もが自由に利用できる公共の情報資産（データ）を蓄積するとともに、地域における有用なデータ活用事例の創出を誘発します。



【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	2 款 総務費				
事業名	未来人財育成事業費 (新生日本・再生故郷実行委員会負担金)				
担当課	企画調整課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	震災復興 特別交付税	その他	一般財源
6,900		6,900			
説 明					
<p>○ 新生日本・再生故郷実行委員会では、エコで快適なまちづくり、人材が育ちあらゆる世代が参加する活力ある地域づくりの推進を目指すとともに、新生日本・再生故郷をテーマに、地方から日本全体の新たな社会構築への挑戦を目指し、地域活力の再生に向けて、次世代を担う“人財”の育成事業を中心とした取組を実施しました。</p> <p>〔事業内容〕</p> <p>1. グローバル人材育成事業</p> <p>野口英世博士とアフリカ諸国との深いつながりを縁とし、会津地方の高校生に駐日アフリカ各国大使館の訪問等を通して、異文化に触れる機会を提供し、子ども達の国際社会への興味関心、異文化理解を深めることで、アウトバウンド（海外留学、国際貢献など）の促進やグローバルな視点を持った思考の習熟を図りました。</p> <p>○参加者数 会津地方高校生 26名（うち市内高校生17名）</p> <p>(1) ワークショップ（全4回）</p> <p>① 開催期間 平成29年6月～8月</p> <p>② テーマ 変化する社会の中でも自分の軸を持ち続けられる「グローバル人材としての自分」を発見する。</p> <p>(2) 英語カフェ（全29回）</p> <p>① 開催期間 平成29年6月～9月</p> <p>② 主な内容 英語力向上を目的にネイティブの外国人を講師として、英字新聞を題材に読むだけでなく英語で内容を話し合う。</p> <p>(3) サマーキャンプ</p> <p>① 開催期間 平成29年8月17日～18日（1泊2日）</p> <p>② 主な内容 ・アフリカ各国大使館（ガーナ、ケニア、モザンビーク、セネガル）への訪問と各国大使等との懇談、ディスカッション ・グローバル企業（豊田通商株式会社）が行っているアフリカでのCSR活動（社会貢献活動）についての学習</p> <p>(4) 成果報告会</p> <p>① 開催日 平成29年10月15日</p> <p>② 主な内容 ・参加高校生による成果発表 ・基調講演 講師：朝日新聞論説委員 平田 篤央 氏 演題：「世界の現場から伝える意味」</p> <p>2. 未来人財育成塾事業</p> <p>次世代を担う子どもたちが、社会の第一線で活躍する講師陣（技術、医療、エンターテイメント等）から、これからの社会を生きる実践的な力を学ぶとともに、同世代との集団生活や活動を通して「自立」と「自律」の心を培い、将来の自分の行き方を描く機会を提供することを目的に、人材育成事業を実施しました。</p> <p>① 名 称 あいづ未来人財育成塾</p> <p>② 開催期間 平成29年7月30日～8月2日（3泊4日）</p> <p>③ 参加人数 中学生 33名（うち市内中学生11名）</p> <p>④ 主な内容 ・社会の第一線で活躍する講師による講義（6講義） ・グループワーク（講義の振り返り・将来の生き方について考えるワーク） ・課外活動（カメラの仕組みや撮影の構図を学ぶ体験型の活動） ・成果発表会</p>					

【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	2 款 総務費				
事業名	市民協働推進事業費 (行政提案型協働モデル事業委託料)				
担当課	企画調整課 協働・男女参画室				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	震災復興 特別交付税	その他	一般財源
1,616		1,616			
説 明					
<p>○ 市民との協働による地域の課題解決と、より幅広い協働の実践につながるモデル事業を創出することを目的に、平成26年4月に策定した「会津若松市市民協働推進指針」の実践の一環として、市民公益活動団体との協働事業（4事業）に取り組みました。</p> <p>いずれの事業も互いに顔が見える打合せを丁寧に行い、相互の信頼関係を構築しつつ、試行錯誤しながら取組を進め、次の実践活動につながるものとなりました。</p> <p>〔事業内容〕</p> <p>1. みんなで考えよう！「街と鳥害」事業</p> <p>近年苦情が増えているムクドリ、カラスのフン害などの対策として、これらの生態を踏まえた追払い作業を実施しました。</p> <p>追払い作業は、実施団体と市のみならず、地域住民や電力会社、学校等とも連携しながら実践したこと、また一定の成果を上げたことで、鳥害対策事業の周知・理解が広がり、町内会等での自発的な追払い・清掃活動につながりました。</p> <p>(1) 実施団体 環境保全会議あいづ (担当課：環境生活課)</p> <p>(2) 事業費 500千円</p> <p>(3) 主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カラスの生態に詳しい専門家による講演会の開催 ・実施団体、事業参加者、市などで構成する鳥害対策会議における追払い・清掃方法の検討 ・カラスとムクドリの追払いの実践 ・追払い道具と清掃用具の貸出 <p>2. メダルの付加価値化によるウォーキング習慣化実証事業</p> <p>市のローカル情報交流アプリ「ペコミン」に、平成28年度に開発したウォーキングアプリの機能を追加しました。そのアプリを活用することで取得できるメダルの利用について、地元商店等のサービスを受けられる仕組みを構築し、ウォーキングの動機づけと習慣化につながるきっかけをつくることができました。</p> <p>(1) 実施団体 ウォーキングカフェ会津 (担当課：健康増進課)</p> <p>(2) 事業費 116千円</p> <p>(3) 主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メダルを獲得できる場の提供 (イベントの開催) ・メダルを利用できる場の提供 (協力店舗の発掘) 					

3. 本町地区「安全・安心」まちづくり事業

本町地区の特性により、災害発生時に被害の拡大が危惧される水害や火災に備えるため、実施団体と市の協働により、学習会や実態調査を実施するなどして地区の防災意識の醸成を図りました。その結果、平成30年度の自主防災組織の立ち上げにつなげることができました。

- (1) 実施団体 会津若松市本町商店街振興会、融通寺町町内会
- (2) 事業費 500千円
- (3) 主な内容
 - ・防災について勉強会の開催
 - ・地区内の実態調査等の実施
 - ・ワークショップの開催（オリジナル・ハザードマップの作成）
 - ・先進都市調査の実施
 - ・自主防災組織の検討

4. イベント企画運営による若者の社会参画促進事業

地域に貢献したいという思いを持っている若者に対し、地域課題の洗い出しから企画立案、運営まで、イベントに携わる機会を提供し、実践の中で得られた成功体験を通して、若者の社会参画意欲の醸成や向上につなげることができました。

- (1) 実施団体 Like会津実行委員会（担当課：地域づくり課）
- (2) 事業費 500千円
- (3) 主な内容
 - イベント（かたるべマルシェ）の企画・運営
 - ・事業参加者の募集
 - ・地域課題の共有
 - ・事業参加者である若者によるイベント「かたるべマルシェ」の企画立案と運営のサポート、助言

【参考】

〔プレゼンテーション・協働パートナー選考審査会〕

上記の4つの課題テーマについて、市民公益活動団体から提案された企画提案書の内容をプレゼンテーションにより発表いただき、審査委員会で審査の上、協働パートナーとなる実施団体を選考しました。

- ・開催日 平成29年5月12日
- ・場 所 生涯学習総合センター
- ・審査委員 5名

〔事業報告会〕

事業に取り組んだ実施団体から事業及び協働の成果と課題についての報告を受けるとともに、審査委員からも講評をいただき、より効果的な協働のあり方について考える機会としました。

- ・開催日 平成30年2月13日
- ・場 所 生涯学習総合センター

【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款		2款 総務費			
事業名		北会津地域活性化事業費 (市民協働地域づくり委員会活動事業負担金)			
担当課		北会津支所まちづくり推進課			
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	震災復興 特別交付税	その他	一般財源
1,000		1,000			
説 明					
<p>○ 北会津地域における市民参加・協働によるまちづくりを支援するために組織した「地域づくり委員会」へ負担金を交付し、住民一人ひとりが地域を理解し、身近な問題の解決に向けた取組への支援を行い、地域の活性化を図りました。</p> <p>・ 地域づくり委員会会員数 47名 (平成30年3月31日現在)</p> <p>[主な事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 組織の構成に係る支援 <ul style="list-style-type: none"> 「北会津公共交通会議」の立ち上げ 「地域サロン」普及に向けての勉強会 意見交換会の開催 (北会津地域連携会議との合同) 地域づくり委員会講演会・活動報告会の開催 (河東地域づくり委員会との合同) 新みなづる号・北会津ふれあい号出発セレモニー (河東地域づくり委員会、湊地区活性化協議会との合同) まちづくり推進ニュース (6回発行) への記事掲載による情報提供 独自チラシ等の配布 (8回) ・ 地域支援事業の取組に係る支援 <ul style="list-style-type: none"> 地域の課題や問題点、解決に向けた話し合いや、実践活動の検証等 「役員会」 (7回) 開催 「委員会」 (8回) 開催 「北会津公共交通会議」 (6回) 開催 委員会発意による実践活動の実施 (4件) <ul style="list-style-type: none"> 「みどり (花) 香るまちづくり推進事業」 「イベントカレンダー配布事業」 「北会津地域内公共交通名称募集事業」 「おためし運行事業」 地域づくり活動支援事業 (住民提案型公募事業) の実施 (4件) <ul style="list-style-type: none"> 「北会津まるごと米粉ピザづくり体験」 「ホテルの立体紙芝居屋でございます」 「めごキッズ水族館」 「古に新あり 會津田想い感舞」 					

【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款		2款 総務費			
事業名		河東地域活性化事業費 (市民協働地域づくり委員会活動事業負担金)			
担当課		河東支所まちづくり推進課			
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	震災復興 特別交付税	その他	一般財源
700		700			
説 明					
<p>○ 河東地域における市民参加・協働によるまちづくりを支援するために組織した「地域づくり委員会」へ負担金を交付し、住民自らが行う身近な問題の解決に向けた取組への支援を行い、地域の活性化を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域づくり委員会会員数 110人 (平成30年3月31日現在) <p>[主な事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 組織の構成に係る支援 <ul style="list-style-type: none"> 専門部会の設置 (地域環境・生活福祉・防犯防災・交通環境) 各部会の開催 (地域環境 (3回)・生活福祉 (4回)・防犯防災 (2回)・交通環境 (10回)) 意見交換会の開催 (河東地域連携会議との合同) 地域づくり委員会講演会・活動報告会の開催 (北会津地域づくり委員会等との合同) 地域づくり委員会ニュースの発行 (3回) ・ 地域支援事業の取組に係る支援 <ul style="list-style-type: none"> 平成25年度からの継続した実践活動の実施 (7件) <ul style="list-style-type: none"> 「広田駅前環境美化運動支援」 「防犯対策活動支援」 「地域安全鼓笛隊パレードの支援」 「各種行事への参加協力」 「友人・知人への参加要請」 「地元施設 (商店等) の利用推進」 「地域づくり委員会ニュースの発行」 平成28年度からの新たな実践活動の実施 (6件) <ul style="list-style-type: none"> 「広田駅前案内板整備」 「皆鶴まつりへの参加・協力」 「地域内サロンの運営協力」 「防災意識の醸成」 「少子化対策事業」 「公共交通の再編」 地域づくり活動支援事業 (住民提案型公募事業) の実施 (4件) <ul style="list-style-type: none"> 「打替山史跡案内板の設置」 「交通教室開催促進事業」 「広田駅前防犯カメラ設置事業」 「JR広田駅前観光案内板改修事業」 					

【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	6 款 農林水産業費				
事業名	農業応援総合プロデュース事業費				
担当課	農政課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	震災復興 特別交付税	その他	一般財源
38,957	37,295		1,662		
説 明					
○ 安全農産物生産支援事業					
放射線物質吸収抑制対策の支援により、放射線物質が検出されない安全な農産物の生産を図りました。					
1. 放射線物質吸収抑制対策事業補助金					
①資材導入支援					
・内 容 放射線物質の農作物への吸収を抑制する資材の導入に要する費用の支援					
・補助対象者 J A等農業者の組織する団体（計12団体）					
・対象資材 カリ肥料（塩化カリ、硫酸カリ）					
・受益作物及び面積 水稲、大豆 計4,241ha					
②効果検証支援					
・内 容 放射線物質の吸収抑制対策を実施するほ場と実施しないほ場を設置して、それぞれのほ場で生産された作物の放射線物質の濃度を測定し、当該年度の事業効果を検証しました。					
・実施箇所数 水稲 26箇所、 大豆 3箇所					
○ 農産物安全情報等発信事業					
農産物の安全情報を量販店等の店頭で確認できる体制を整備するとともに、農産物販売促進チラシを作成して、生産者や流通業者の販売を支援しました。					
1. 農産物安全情報パネル設置					
・設置店舗数 21店舗					
・設置回数 年2回（春・秋）					
2. 農産物販売促進チラシ					
・作成品目数 15品目（米、農産物全般、果樹等）					
・利用方法 市ホームページ、農政課窓口等での配布					
○ 農産物等販路開拓・販売促進事業					
首都圏等でのイベントを通じて、地元産農産物の安全・安心・高品質・良食味についてPRを実施し、販路の維持・拡大を図りました。					
1. 販路開拓に係る個別相談会開催					
・市内において1回開催					
2. PR活動					
・イベント等への出展 8回					
平成29年6月3日～4日	よこすかカレーフェスティバル	神奈川県横須賀市			
7月5日～6日	関西トップセールス	大阪府大阪市等			
10月24日	大野屋における販売促進イベント	神奈川県川崎市			
9月6日～平成30年2月10日	会津みしらず柿食販売促進イベント	福島県内等			
11月14日	スズキヤにおける販売促進イベント	神奈川県横須賀市等			
11月25日～26日	横須賀市友好関係市フェア	神奈川県横須賀市			
11月25日～26日	北会津銘柄米部会消費地情勢調査活動及び販売促進活動	大阪府大阪市等			
12月9日～10日	道の駅八王子滝山	東京都八王子市			

【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	6款 農林水産業費				
事業名	「会津の食」ブランド化事業費				
担当課	農政課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	震災復興 特別交付税	その他	一般財源
15,000	5,000	10,000			

説明

○ あいづ食の陣実行委員会負担金

当該実行委員会への支援を通して、市内飲食店や宿泊施設、菓子販売業者等と連携しながら旬の地元農畜産物をメインとした商品の開発・販売を行うことにより、会津の食の魅力を外部へ発信するとともに、地元農畜産物の利用拡大とブランド化を図りました。

① シーズンイベント

1年間を春（4月～6月）、夏（7月～9月）、秋（10月～12月）、冬（1月～3月）の4シーズンに分け、各シーズンのテーマ食材を利用した飲食メニューやお土産等の情報提供をするとともに、シーズン毎にパンフレットを作成し、参加店舗、提供メニューのPRや各シーズンの会津の魅力を紹介し、広く情報発信を実施しました。

・テーマ食材：春…アスパラガス、夏…トマト、秋…米、酒、冬…会津地鶏

・参加店舗の実績

*春・アスパラ	： 飲食店：43店、宿泊施設：7施設、販売店：14店	計64店舗
*夏・トマト	： 飲食店：41店、宿泊施設：7施設、販売店：13店	計61店舗
*秋・米、酒	： 飲食店：40店、宿泊施設：6施設、販売店：18店	計64店舗
*冬・会津地鶏	： 飲食店：40店、宿泊施設：7施設、販売店：6店	計53店舗

② 広報PR活動

地域内外でのイベント開催等によるPR活動や、参加団体が実施する食のイベントの情報を集約し広くPR活動を実施しました。また、テーマ食材別パンフレットの作成（4回）、イベントへの出展等、市ホームページ、公式ホームページ、フェイスブック、市政だより、地方テレビ局の活用、地元新聞社の広告掲載等により広報活動を実施しました。

【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款		7款 商工費			
事業名		地場産業振興事業費 (会津清酒消費拡大推進協議会負担金)			
担当課		商工課			
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	震災復興 特別交付税	その他	一般財源
4,500		4,500			
説 明					
○ 【地域外事業】 首都圏の30～40代女性の「会津清酒」ファンづくりを行いました。					
1. 会津清酒ブランディング事業					
首都圏の30～40代の女性をターゲットとした会津清酒イベントを開催					
開催日：平成29年9月2日（土）、9月29日（金）					
場所：東京都（ルミネゼロ、dining&bar KITSUNE）					
参加者数：合計で約450人					
2. テストマーケティング事業					
外国人向けの会津清酒の新たな飲み方の提案を行うとともに、アンケート調査を実施					
期間：12月1日～14日					
場所：Bar霞町嵐					
○ 【地域内事業】 地域住民を巻き込んでのイベントの実施や講習会の開催等、会津清酒をテーマとしたおもてなしの舞台づくりを行いました。					
(テーマ1) おいしいお酒がある					
会津清酒HPの作成やSNSによる情報発信を実施					
期間：平成29年4月～平成30年3月					
(テーマ2) お酒の楽しみ方がある					
・会津の品格セットの推進					
イベントでの展示・販売等によるPR					
・会津清酒文化創造推進事業					
成人式における会津清酒のPR					
対象：平成30年1月7日の成人式に参加した約1,300人					
・「会津清酒で乾杯」の開催					
10月1日の「日本酒の日」に合わせてイベントを開催					
開催日：平成29年10月1日（日）					
場所：鶴ヶ城 帯郭					
参加者数：約700人					
・会津清酒屋台村の開催					
① 開催日：平成29年4月22日（土）					
場所：鶴ヶ城二の丸					
参加者数：約500名 ※全会津の蔵元に呼びかけて開催					
② 開催日：平成29年10月1日（日）					
場所：鶴ヶ城 帯郭					
参加者数：約2,000人 ※酒造組合の蔵元と会津美里町・会津坂下町の蔵元で開催					
(テーマ3) お酒のことを知っている					
・会津清酒おもてなし講座、頑固一献講座の開催					
期間：平成29年4月～平成30年3月					
回数：10回					
・会津清酒で乾杯推進事業					
内容：会津清酒で乾杯を推進するためのミニこも樽を作成し、市内飲食店や旅館などに配付					

【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	7款 商工費				
事業名	地場産業振興事業費 (会津漆器販路拡大事業実行委員会負担金)				
担当課	商工課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	震災復興 特別交付税	その他	一般財源
3,428			3,428		
説 明					
<p>○ 消費者を対象とした国内最大級の展示会であるテーブルウェア・フェスティバル及び国内外のバイヤーを対象にしたインテリアライフスタイルに出展することにより、新しい会津塗の魅力づくりと発信を行い、会津塗の振興を図りました。</p> <p>【テーブルウェア・フェスティバルにかかる取組】</p> <p>[主な事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> 勉強会（全4回） 内容：ターゲットを考えた商品企画とデザイン、他産地から学ぶ開発・産地コラボの利点と可能性など 参加者：延べ47名 商品開発指導会（全5回） 参加者：延べ47社 テーブルウェア・フェスティバルへの出展 開催期間：平成30年2月4日～2月12日（9日間） 開催場所：東京ドーム 参加企業：8社 フィードバックセミナーの実施（1回） 内容：魅力ある商品やトレンドを生かしたものづくりについて協議を行いました。 参加者：8社 <p>[事業成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> 累計約29万人の来場者数に対し、会津塗の効果的なPRを図りました。 継続出展によりリピーターが増え、出展後の問い合わせが多数出るなど、着実なファンの獲得に寄与しました。 コンテストにおいて大賞をはじめ、複数名が受賞するなどセミナー等の成果が現れました。 <p>【インテリアライフスタイルにかかる取組】</p> <p>[主な事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> 勉強会（全2回） 内容：ビジネスモデルになるための地域商社の役割、海外マーケットに向けた戦略と情報発信など 参加者：延べ10社 商品開発指導会（全3回） 参加者：延べ18社 インテリアライフスタイルへの出展 開催期間：平成29年6月14日～16日（3日間） 開催場所：東京ビッグサイト 参加企業：6社 フィードバックセミナーの実施（1回） 内容：個別訪問によりブランド化や商品ラインナップに関するプロモーションについて改善点を整理し、各社それぞれに検証を行いました。 参加者：6社 <p>[事業成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> インテリアライフスタイルでの商談実績：169件（商談成立21件） 出展を契機に、家電関係など今まで取引実績のない業種や企業との商談が成立し、既存商品の取引に止まらず、新たに商品開発に取り組む事例も生まれました。 					

【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	7款 商工費				
事業名	中心市街地活性化事業費 (まちなか賑わいづくりプロジェクト事業負担金)				
担当課	商工課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	震災復興 特別交付税	その他	一般財源
1,000		1,000			
説 明					
<p>○ 中心市街地活性化基本計画に位置付けられた事業を市民協働により継続して実施し、市民や観光客の回遊性及び滞留性の向上による交流人口の拡大を図るとともに、地域住民をはじめとした多様な主体のまちなかの賑わいづくりへの参画を促進しました。</p> <p>1. まちなか誘導、回遊・交流促進事業</p> <p>平成26年度に策定した「まちなかの賑わい創出に向けた案内板・誘導板設置計画」に基づき設置を行った箇所について、その効果の再確認等を行うため、まち歩き調査・ワークショップを開催し、そこで出された意見等を踏まえ、看板の修繕等を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まち歩き調査・ワークショップの実施（全5回） <ul style="list-style-type: none"> ①大町通り、野口英世青春通り ②市役所通り、北出丸大通り、鶴ヶ城周辺 ③本町通り ④博労町通り ⑤七日町通り、ふれあい通り ・看板の修繕 <p>まち歩き調査・ワークショップの意見により、博労町通り町並み会が通りのシンボルとして設置した会津藩奴隊の看板について、看板の修繕を行いました。</p> <p>2. まちなか憩いの空間、緑化プロジェクト事業</p> <p>まちなか散策を促進し、回遊及び滞留時間の拡大を図るため、植樹を行ってきた箇所等でライトアップを行い、中心市街地の魅力を発信しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大町四ツ角シャッターへの照明設備の設置 <p>大町四ツ角中央商店街振興組合が「福島県立葵高等学校美術工芸部」と協力して完成させた大町四ツ角（札の辻）の空き店舗のシャッターアートに、照明設備を設置しました。</p> ・野口英世青春広場ライトアップ <p>冬期間の賑わい創出を目的に、絵ろうそくまつりの開催期間に合わせ、野口英世青春広場の樹木にイルミネーションを設置しました。</p> <p>3. 賑わいづくり人材育成事業</p> <p>新しいまちなかの賑わい創出の手法を考えることを目的に、まちづくりの専門家を招いた勉強会や先進地への視察等を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先進地視察（平成29年8月19日（土）・8月20日（日）） <ul style="list-style-type: none"> ①新潟県新潟市 沼垂テラス商店街 ②富山県氷見市 氷見・中央町商店街 ・研修会・講演会等（全8回） <p>4. まちなかスペース活用事業</p> <p>会員をはじめとする民間団体等と協働し、まちなかの賑わい創出を目的としたイベント事業を行いました。</p> <p>(開催予定概要) ※当日は台風の影響により中止。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 時 平成29年10月29日（日）10：00から15：00まで ・場 所 中央児童公園（生涯学習総合センター隣） ・内 容 物販、飲食ブース、体験ブース（電子工作） 					

5. アンケート調査の実施

まちなかの魅力向上や賑わいづくりに対する事業の効果について、アンケート調査を実施しました。

- ・調査時期 平成30年3月
- ・対象者 会員を中心とした地域住民
- ・回答数 164枚（回収率32%）

①まちなか憩いの空間、緑化プロジェクト事業について

- ・結果 約8割の人が「魅力づくりに効果があった」と回答

②中心市街地の来街者数について

- ・結果 約5割の人がまちなか賑わいづくりプロジェクト各種事業により「まちなかを訪れる人が増えたと感じる」と回答

【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	7 款 商工費				
事業名	桜咲く会津プロジェクト推進事業費 (桜咲く会津プロジェクト実行委員会負担金)				
担当課	商工課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	震災復興 特別交付税	その他	一般財源
8,622		8,622			
説 明					
<p>○ イオン株式会社との地域貢献協定を活かし、会津地域の農産食品を継続的に全国に流通させていくための各種事業を展開し、販路開拓に努めました。</p> <p>[主な事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国のイオングループ5店舗において会津フェスタを開催 実施期間：平成29年6月～平成29年11月 開催内容：トップセールス、催事、郷土芸能披露、観光PR、地域製品の試食PRなど（全5回） 開催地域：関東4店舗、関西1店舗 ・ 商談会の実施 開催回数：21回 開催場所：市内、東京都、千葉県 開催内容：会津地域内企業とイオングループバイヤーとの商談会 参加企業：会津地域内企業延べ168社 ・ 研究会の開催 開催回数：13回 開催場所：市内 開催内容：「生産量の確保及び流通網の整備」と「輸出に関するノウハウ不足」といった課題を解決するため、地域内での生産活動を行う農畜産業者、食品加工業者などを対象に研究会を実施しました。 ・ イオンビジネススクール等との連携 開催回数：4回 開催場所：会津地域内 開催内容：イオングループのバイヤーや商品開発担当者等を目指している社員を受け入れ、会津産品（酒、漆器、農産物等）をモデルとした実地研修を実施しました。 受入人数：38名 ・ 人材育成セミナーの実施 開催場所：市内 開催内容：イオンの商品開発、食品の表示など 参加者：会津地域内企業34名 ・ 輸出トライアル事業（イオン香港商談・試食会） 実施期間：平成30年3月24日～25日 実施場所：イオンストアーズ香港本社、イオンスタイルコーンヒル店 実施内容：現地バイヤーとの商談会や、会津産品の試食・試飲による市場調査等を行い、輸出の可能性について調査を行いました。 <p>[事業成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会津フェスタ開催における来場者約80万人に会津産品のPRが図られました。 ・ 研究会を通じて、新たに組織された「会津オーガニック匠の会」が、東北エリアのイオンへオーガニック農産物を供給する生産基地化が決定され、新たな取引に繋がりました。 ・ 機能性漆器がイオンPB（プライベートブランド＝トップバリュ）に採用され、全国150店舗に供給されるなど、販路拡大に寄与することができました。 					

【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	7 款 商工費				
事業名	産学官連携推進事業費 (会津 I T 産業振興協議会負担金)				
担当課	商工課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	震災復興 特別交付税	その他	一般財源
1,290		1,290			
説 明					
<p>○ I T人材の育成・確保、情報発信にかかる支援等を行うことで、会津大学や市内ベンチャー企業をはじめとする I T産業の持続的な発展と振興を図りました。</p> <p>[事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会員数 17 社 (企業会員12社、支援機関5社) ・ IT人材育成事業 講演者 : 渡辺 誠一郎氏 (リビングイメージ株式会社 CEO、起業家、技術者) テーマ : 「先輩経営者の創業体験・企業経営」 内 容 : NHK番組『プロフェッショナル仕事の流儀』(2007年3月1日放送)にも出演された渡辺氏より、起業家・技術者としてのシリコンバレーでの体験談についてご講演いただき、意見交換を行いました。 開催日 : 平成30年2月2日 場 所 : AdoriA北出丸カフェ 参加数 : 13名 ・ 各種情報提供 講演会やセミナー、イベント、展示会等の開催情報、助成金の公募情報等について、定期的に会員に対し情報提供を行いました。 媒 体 : 産学連携ニュースレター、ハイテクプラザニュース、情報通信ベンチャーニュース等 ・ 広報、P R 協議会Facebookページの更新。 <p>[事業効果]</p> <p>講演会の開催により、起業や新事業の実現に向けた機運が高まりました。また、事業を通して会員相互間の連携や情報共有が図られました。</p>					

【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	7款 商工費				
事業名	漆香るプロジェクト推進事業費 (漆香るプロジェクト実行委員会負担金)				
担当課	商工課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	震災復興 特別交付税	その他	一般財源
7,133		7,133			
説 明					
<p>○ ANAグループと連携し、会津塗のブランド力向上と販売促進を図るための各種事業、さらには国内外に向けた漆器の情報発信とプロモーションに取り組みました。</p> <p>[主な事業実績]</p> <p>1. ANAグループへの採用を目指した取組み</p> <p>①マーケティング調査・国内プロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・客室乗務員向け蒔絵体験の実施 開催日：平成29年10月25日 開催場所：羽田空港国内線ビル（ANAグループ社内） 開催内容：会津塗の実演、体験、展示等を通じて、客室乗務員に向けた会津塗のPR及び勉強会を実施することで、理解促進を図りました。 ・企業内マルシェの実施 開催日：平成30年3月6日 開催場所：羽田空港国内線ビル（ANAグループ社内） 開催内容：会津塗の実演、展示、会津地域の特産品販売を通じて、ANAグループ社員に向けた会津塗のPRさらには会津地域のPRを実施することで、理解促進を図りました。 ②商品開発等に向けた勉強会・研究会 ・勉強会・研究会の実施 開催期間：平成29年11月～平成30年3月 開催内容：航空機内、ラウンジ、免税店への採用を目指した勉強会及び研究会 「ANAサービスと商品戦略」「ANA商品販売マーケットの概要」など（全3回） <p>2. 海外への情報発信・プロモーション</p> <p>①海外プロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外プロモーションと販売の実施 実施期間：平成29年12月8日～12月10日 実施場所：フランス コルマル市（アルザス欧州日本学研究所、セレクトショップ） 実施内容：伝統工芸士による会津塗の実演及び体験を通じてフランスでのプロモーションを行うとともに、販売や情報発信、マーケティング調査等を実施しました。 ②訪日外国人向けプロモーション ・「会津の匠の技展」の開催 開催期間：平成30年1月9日～平成30年1月14日 開催場所：羽田空港国際線ターミナル 開催内容：会津塗や会津清酒、特産品等の地場産品の実演、販売、展示等を行い、国際線の空港利用客に対して会津塗を中心としたPRを行いました。 <p>[事業成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ANA羽田空港VIPラウンジに会津塗が1品目300個が採用され、継続的な採用に繋がりました。 ・海外（フランス）のセレクトショップと3社6品目が継続的な販売に繋がりました。 					

【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	7款 商工費				
事業名	医工連携推進事業費 (医療トレーニング機器開発推進事業委託料)				
担当課	企業立地課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	震災復興 特別交付税	その他	一般財源
2,883		2,883			
説 明					
<p>○ 医療機関や産業支援団体等を構成員とするコンソーシアム会議を組織するとともに、医療機器展示会に出展し、医療従事者等からの意見を聴取する機会を創出することで、市内企業による医療トレーニング機器の開発を支援しました。</p> <p>また、市内企業を対象とする医療トレーニング機器関連セミナーを開催し、市内企業の医療機器関連産業への新規参入の促進を図りました。</p> <p>この結果、アドバイザー等からの助言を受けて、市内企業3社が製作を進めてきた心臓冠動脈カテーテル治療トレーニング用手首モデルの試作品について、更なる改良につなげることができました。</p> <p>[委託先] 一般財団法人 ふくしま医療機器産業推進機構</p> <p>[コンソーシアム会議構成企業・団体] 市内企業 (株)北日本金型工業、(株)サンブライト、西田精機(株)、会津若松市、会津若松商工会議所、福島県立医科大学会津医療センター、福島県医療機器販売業協会、福島県発明協会、会津産業ネットワークフォーラム、ふくしま医療機器産業推進機構</p> <p>1. 市内企業による医療トレーニング機器試作品開発支援 ・内 容 コンソーシアム会議開催による開発支援 (2回)、参画企業等による開発会議 (12回)</p> <p>2. 医療機器関連展示会への出展 ・展示会 第92回日本医療機器学会大会併設機器展示会「メディカルショージャパン&ビジネスエキスポ2017」 ・会 期 平成29年6月29日(木)～7月1日(土) ・会 場 パシフィコ横浜(神奈川県横浜市) ・主催者 日本医療機器学会 ・内 容 上記学会の参加者(医師、看護師、医学生、臨床工学技士、商社等)に試作品を直に触れてもらったうえで、その意見を直接聴取</p> <p>※ほか「第8回医療機器開発・製造展」(日本ものづくりワールド2017)と、「メディカルクリエーションふくしま2017」へ出展</p> <p>3. 医療トレーニング機器関連セミナーの開催 ・日 時 平成30年2月9日(金) ・場 所 会津若松市生涯学習総合センター 會津稽古堂 研修室2・3 ・内 容 菊池製作所の福祉医療分野への取り組み ・講 師 株式会社菊池製作所 執行役員副社長 一柳 健 氏 株式会社菊池ハイテクサプライ マネージャー 櫻井 敏夫 氏 ・参加者 市内企業等20名</p>					

【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款		7款 商工費			
事業名		頑張るものづくり企業支援事業費			
担当課		企業立地課			
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	震災復興 特別交付税	その他	一般財源
400		400			
説 明					
○ 周辺自治体、民間団体が一体となった実行委員会を組織して事業を行い、会津地域におけるものづくり企業の販路拡大やビジネスマッチングの機会創出を図りました。					
<p>[構成団体]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体 会津若松市、喜多方市、会津坂下町、湯川村、会津美里町 ・民間団体 会津若松商工会議所、会津産業ネットワークフォーラム 					
<p>[事業内容]</p> <p>会津地域ものづくり企業による首都圏展示会への共同出展を支援し、出展企業の製品や技術のPRを行うことで、販路拡大の機会を創出しました。 また、本市にて、ものづくり企業を対象とする商談会を開催し、会津地域のものづくり企業におけるビジネスマッチングの機会を創出しました。</p>					
<p>1. 首都圏展示会共同出展支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示会 第21回機械要素技術展 ・会 期 平成29年6月21日（水）～23日（金） ・会 場 東京ビッグサイト（東京都江東区） ・主催者 リードエグジビションジャパン株式会社 ・来場者数等（主催者発表） 来場者数 88,554人（会期中） 出展企業数 2,454社 ・共同出展企業 6社（うち市内企業3社） ・商談件数等 名刺交換件数 420件 見積依頼件数 63件 取引開始件数 5件 					
<p>2. 会津地域ものづくり企業商談会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 平成29年11月14日（火） ・会 場 会津若松ワシントンホテル ・参加企業数 発注企業 13社（うち市内企業0社） 受注企業 18社（うち市内企業2社） ・商談件数等 商談件数 75件 商談成立件数 15件 商談継続件数 26件 					

【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	7款 商工費				
事業名	観光振興事業費 (会津十楽 in サムライシティーあいつ開催事業負担金)				
担当課	観光課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	震災復興 特別交付税	その他	一般財源
3,546		3,546			
説 明					
<p>○ 本市の「サムライシティー」による観光振興を図るため、サムライシティプロジェクト実行委員会へ負担金を交付し、新たな切り口による歴史観光を推進しました。 鶴ヶ城等で四季ごとに「会津十楽」を開催するほか、地域のイベント等にも出店し、サムライシティー「会津」をPRしました。</p> <p>〔事業内容〕 蒲生氏郷公が物産販売と文化的技量の発表の場として実施していた「十楽」を現代風にアレンジし、歴史的な背景を含めた新たな観光資源を創出することで、県内外からの観光誘客を図りました。</p> <p>〔実施事業〕 鶴ヶ城公園やその周辺を会場に、サムライシティーとしての演出を施した会津の物産販売を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会津十楽春の陣 日時：平成29年4月8日～30日の土日祝日、5月3日～7日 10：00～16：00 13日間 ※15日は宵の宮（10：00～20：30）、16日～23日は夜間営業（17：00～20：30） 来場者数：約118,000人 会場：鶴ヶ城本丸 ・会津十楽夏の陣 日時：平成29年8月13日～16日 19：00～21：00（東山温泉盆踊りに合わせて開催） 来場者数：約8,600人 会場：東山温泉 ・会津十楽秋の陣 日時：平成29年9月16日～24日の土日祝日 10：00～16：00 ※17日は台風により中止 来場者数：約21,000人 会場：鶴ヶ城本丸 ・会津十楽冬の陣 日時：平成30年2月9日、10日 17：30～21：00（会津絵ろうそくまつりに合わせて開催） 来場者数：約17,000人 会場：鶴ヶ城帯廓 					

【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款		7款 商工費			
事業名		観光振興事業費 (会津まつり協会特別負担金(さくらまつり大茶会))			
担当課		観光課			
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	震災復興 特別交付税	その他	一般財源
2,020		2,020			
説 明					
<p>○ 会津まつり協会を通じて鶴ヶ城さくらまつり大茶会実行委員会に負担金を支出し、鶴ヶ城を訪れる観光客や市民に呈茶など春のおもてなしを行うことにより、会津の茶道文化を発信し、地域文化の振興と観光誘客を図りました。</p> <p>[事業内容] 鶴ヶ城本丸内において、茶道6流派がそれぞれ呈茶を行うとともに、親子茶道体験や子ども茶道歴史講座を開催することで茶道文化の継承に努めました。また、茶の湯文化だけでなく、その伝統に基づく着物文化等も合わせて発信することで、イベントの魅力向上に努めました。</p> <p>[実施内容] <ul style="list-style-type: none"> ・ 期間：平成29年4月22日(土)～23日(日) ・ 場所：鶴ヶ城及び御薬園 ・ 内容 <ul style="list-style-type: none"> ○ 茶道6流派による呈茶 2,169人 ○ 親子茶道体験 532人 ○ 着物着付け体験 118人 ○ 子ども茶道歴史講座 85人 ○ 茶器の展示 149人 </p>					

【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款		7款 商工費			
事業名		観光振興事業費 (会津まつり協会特別負担金(会津全国煙火競演会))			
担当課		観光課			
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	震災復興 特別交付税	その他	一般財源
3,000		3,000			
説 明					
<p>○ 会津まつり協会を通じて会津全国煙火競演会実行委員会に負担金を支出し、全国から著名な花火師を招聘した第二回会津全国煙火競演会を開催することにより、観光誘客及び地域振興を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日時 平成29年11月3日(金・祝) 17時30分～19時00分 ・ 会場 会津若松市町北町地内 ・ 観覧者数 約50,000人(内、有料観覧者数 4,264人) ・ 実績概要 花火師参加38者、協賛503者(個人、団体)、露天出店104店舗、フォトコンテスト応募35名 					

【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	7款 商工費												
事業名	観光物産復興特別事業費 (会津若松観光ビューロー特別補助金)												
担当課	観光課												
決算額	財源内訳												
	国県支出金	復興基金 繰入金	震災復興 特別交付税	その他	一般財源								
23,524			23,524										
説 明													
○ 原子力発電所事故による風評の払拭や、冬季の誘客対策、広域観光など、会津若松観光ビューローが重点的に実施する事業に対し、補助を行いました。													
1. 教育旅行推進事業													
<p>県外の小中学校や旅行会社への訪問活動を通して、本市の魅力や安全性などの情報発信を行い、教育旅行の回復に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校・旅行エージェント訪問 608件 													
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>対前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県外来訪校数</td> <td>588校</td> <td>639校</td> <td>108.7%</td> </tr> </tbody> </table>							平成28年度	平成29年度	対前年比	県外来訪校数	588校	639校	108.7%
	平成28年度	平成29年度	対前年比										
県外来訪校数	588校	639校	108.7%										
2. インバウンド推進事業													
<p>多言語パンフレットなどの外国人向けPRツールの作成や各種プロモーションや商談会への参加、市内関係者向けの研修会の開催などにより、インバウンド誘致と受入体制の向上に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人ボランティアガイド（英語・中国語）の運用（29年度利用者227名） ・ ホームページ、パンフレットや市内観光マップ、動画など、多言語の誘客ツール作成とPR ・ 市内のインバウンドの受入体制の向上のための講習会等の開催 ・ モニターツアー実施によるSNSプロモーション 													
3. コンベンション推進事業													
<p>市内の宿泊施設、会議施設、観光資源等の情報発信や開催支援事業（助成制度）の実施により、コンベンション誘致に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コンベンション開催支援事業の実施 ・ 誘致用パンフレット、コンベンションバッグの作成 ・ 商談会、情報交換会等への参加 													
4. エージェント助成金事業													
<p>冬期における誘客促進のため、エージェントに対し送客実績に応じた助成を行い、誘客数の増加を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 助成件数 42件 ・ 送客実数 4,963人 													
5. 物産プロモーション事業													
<p>首都圏の駅などを活用した物産展を行い、物産振興に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JR大宮駅での観光物産展（12月）27社出店 ・ JR浦和駅での観光物産展（2月）25社出店 													
6. DMO推進事業													
<p>関係者との連携を図りながら、観光動向に係る基礎データの収集、アドバイザー指導や研修会等への参加によるDMO手法のノウハウ習得などを行いました。</p>													

【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	7 款 商工費				
事業名	観光誘客メディア戦略事業費 (会津若松フィルムコミッション特別負担金)				
担当課	観光課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	震災復興 特別交付税	その他	一般財源
2,363		2,363			
説 明					
<p>○ 本市公認キャラクター「会津侍 若松つつん」による、ホームページやSNSなどのメディア媒体を利用した観光誘客の取組について、会津若松フィルムコミッションへ特別負担金を交付し、同事業と連携することで相乗効果を図り、本市の観光資源や撮影ロケ地等について効果的に情報発信を行いました。</p> <p>また、若松つつんの民間による利用を促すとともに、各種イベント等への参加を通して、市公認キャラクターとしての認知度向上に努めました。</p> <p>1. 会津若松フィルムコミッションと連携したPR活動</p> <p>① 「会津侍 若松つつん」専用ホームページ、フェイスブック等を活用し、市内撮影の番組放送の紹介や市内観光情報の発信を行いました。</p> <p>② 「ふるさと甲子園」へ参加し、ロケ地・物産品をPRしました(87千円)。</p> <p>※ふるさと甲子園 「ロケ地」を観光資源として活用するため、地方自治体や地域活性化を推進する団体、マスメディア等が連携し、ロケ地として使用された景観や建物等を中心に観光PRを行うとともに、各地の「ご当地グルメ」を紹介することにより、観光交流人口、及び移住者の増加を促し、地域活性化を図るイベント。</p> <p>2. 情報発信・知名度向上へ向けた取り組み</p> <p>①会津侍 若松つつん専用ホームページの運営(276千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・29年度アクセス数 26,490件 <p>②若松つつんピンバッチをノベルティとして作成し、イベント等で配布(673千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内小学生への配布(市内小学6年生 1,107名) ・各種イベント等での配布 <p>③イベントへ直接参加し、SNSを活用したPRの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会津まつり、會津十楽、鶴ヶ城大茶会、鶴ヶ城ハーフマラソン、会津ブランドものづくりフェア、絵ろうそくまつり、十日市等の投稿を行いました。 <p>④ロケ地マップの製作(208千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロケ地マップを制作しPRすることで、ロケツーリズムを推進しました。 <p>⑤イベントプロモーション活動(1,092千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リアル若松つつんと咲子さんを招聘し「ONSEN・ガストロノミーウォキングin会津若松」「会津ブランドものづくりフェア」「鶴ヶ城紅葉ライトアップ」へ参加し、動画や写真をSNSで情報発信しました。 ・吉本興業が主催する「RUN FORWARD KANPEI みちのくマラソン2017」で、間寛平さんが市内を走る様子や市役所本庁舎を訪問の様子をSNSで動画配信しました。 <p>⑥「ご当地キャラクターに応援の年賀状を書こう！」イベントの実施(4千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本郵便と連携し「ご当地キャラクターに応援の年賀状を書こう！」に参加しました。 ・応援年賀状数：63通(内県内42通 県外21通 青森、秋田、宮城、山形、静岡、和歌山) 					

【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	7款 商工費				
事業名	戊辰150周年記念事業費				
担当課	観光課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	震災復興 特別交付税	その他	一般財源
118,681		56,425		41,439	20,817
説 明					
○ 平成30年に会津戦争終結150周年を迎えることから、会津若松市戊辰150周年記念事業実行委員会に負担金を支出し、各種記念事業を実施しました。					
1. 記念事業 事業費 1,959,984円					
戊辰150周年を記念して、オープニング記念歴史講演会、「オペラ白虎」プレコンサートを開催しました。					
・ オープニング記念歴史講演会（事業費 779,984円）					
戊辰150周年の幕明けとして直木賞作家・中村彰彦氏を招いて講演会を開催しました。					
日 時：平成30年1月28日（日）16時00分～18時00分					
来場者：約500人					
・ 「オペラ白虎」プレコンサート（事業費 1,180,000円）					
平成30年度の「オペラ白虎」公演に向けて、機運醸成を図るためプレコンサートを実施しました。					
日 時：平成30年2月14日（水）19時00分～20時30分					
来場者：約160人					
2. 記念展示事業 事業費 307,260円					
市内の歴史展示施設10施設を周遊するクイズラリーの平成30年4月からの開催に向けて、参加施設の調整等を行いました。					
3. 誘客宣伝事業 事業費 90,493,667円					
戊辰150周年記念事業を全国にPRするため、特別番組の制作や広告の掲載、特設ホームページの開設等を実施しました。					
・ 特別番組の制作（委託料 50,000,000円）					
委託先：東武トップツアーズ株式会社会津若松支店					
・ 広告・協賛（事業費 13,523,279円）					
・ 特設ホームページの開設（委託料 3,315,600円）					
委託先：株式会社シンク					
・ ロゴマーク・キャッチフレーズの公募（事業費 150,000円）					
・ 新選組コンテストの実施（事業費 1,660,250円）					
観光客や市民を対象としてフォトコンテストを実施。参加者はSNS等により情報発信。					
・ 鶴ヶ城天守閣VRコンテンツ/ARアプリケーション拡充（委託料21,600,000円）					
鶴ヶ城天守閣ARアプリケーションの機能拡充を実施。					
委託先：株式会社電通東日本福島営業所					
4. 機運醸成事業 事業費 5,684,508円					
戊辰150周年の機運醸成を図るため、パンフレット、ポスター、のぼりを作成しました。また、県内の放送局に対して番組制作に補助金を交付しました。					
・ パンフレットの作成 40,000部					
・ ポスターの作成 B1判300枚 B2判4,000枚					
・ のぼり 200本					
・ 県内放送局への番組制作補助 テレビユー福島					

【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	7 款 商工費				
事業名	温泉地域活性化推進事業費 (温泉地域活性化推進事業補助金(震災復興特別分))				
担当課	観光課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	震災復興 特別交付税	その他	一般財源
10,000			10,000		

説 明

○ 東山・芦ノ牧両温泉地域の活性化及び観光振興を促進するため、震災復興特別分として、震災復興のための事業に対する補助金を交付しました。

補助団体	東山温泉観光協会	芦ノ牧温泉観光協会
震災復興特別分	【誘客宣伝事業】 ・インバウンド対策として、昨年度導入した外国人案内アプリ「ジャパン・コンシェルジュ」を継続して実施しました。 ・夏まつり等での誘客を図るため、テレビCMを制作、放映しました	【誘客宣伝事業】 ・誘客プロモーションとして、「じゃらん」によるネット販売及び誘客の充実を図る取り組みを実施しました。
	【活性化推進事業】 ・廃業施設が増えたため、温泉街の地図看板をリニューアルしました	【活性化推進事業】 ・冬季誘客を図るため、温泉街にスノーモービルによるバナナポートや雪遊び広場、スノースライダー等を利用できるスノーパークを整備し、かまくら体験広場の設営や甘酒、熱燗の提供を実施しました
	【イベント事業】 ・復興に向け、次のイベントの充実を図りました。 「絵ろうそく祭り直通バス運行」 「夏祭りポスター作製」 「羽黒神社元朝詣り簡易照明」 「夏祭り十楽出店費用」	
	【東山温泉・芦ノ牧温泉共同事業】 ・両温泉と会津若松のネームバリューを活かし、都内で開催されることの多い旅行エージェントとの商談会を現地で開催しました。 ・冬季誘客に向け、郡山市でキャラバンを行い、観光PRに努めました。 ・広告展開事業として、旅行ブロッガーとの連携や、英語圏の外国人向けにアピールできるシステムを持ったエージェントとの契約を行い、国内外に向けて誘客のための体制作りを行いました。	
	補助額 5,000千円	補助額 5,000千円

<温泉入込み>

(単位：人)

	28年	29年	増減	対前年比
東山温泉	532,941	537,783	4,842	100.91%
芦ノ牧温泉	229,462	234,439	4,977	102.17%
計	762,403	772,222	9,819	101.29%

※各年 1月～12月

【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款		7款 商工費			
事業名		温泉地域活性化推進事業費 (ONSEN・ガストロノミーツーリズム推進機構負担金) (ONSEN・ガストロノミーウォーク実行委員会負担金)			
担当課		観光課			
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	震災復興 特別交付税	その他	一般財源
1,935		1,935			
説 明					
<p>○ O N S E N ・ ガ ス ト ロ ノ ミ ー ツ ー リ ズ ム 推 進 機 構 負 担 金</p> <p>その土地ならではの食を楽しみ、歴史や文化を知るという「ガストロノミーツーリズム」に日本が世界に誇る「温泉」をプラスした新しい体験「ONSEN・ガストロノミーツーリズム」の推進により、温泉地の活性化と観光振興を図りました。</p> <p>[内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ O N S E N ・ ガ ス ト ロ ノ ミ ー 推 進 機 構 会 費 (100千円) ONSEN・ガストロノミーツーリズムの推進を目的とした、一般財団法人ONSEN・ガストロノミー推進機構の趣旨に賛同し、自治体会員となるための入会費 ・ O N S E N ・ ガ ス ト ロ ノ ミ ー ウ ー キ ン グ 開 催 に 係 る イ ベ ン ト 認 定 料 (300千円) <ul style="list-style-type: none"> ① O N S E N ・ ガ ス ト ロ ノ ミ ー 推 進 機 構 の イ ベ ン ト と し て 認 定 し、幅 広 い 普 及 活 動 を 行 う。 (ホームページ、SNS、協賛企業等にて国内外への情報発信、参加者募集活動 等) ② イ ベ ン ト 開 催 に 係 る ア ド バ イ ザ ー 協 力 (イベント開催に係る情報提供、関連団体への集客活動・仲介、準備のサポート 等) ③ 備 品 貸 出、制 作 (の ぼ り、リ ボ ン、ス タ ンプ、看 板 等) <p>○ O N S E N ・ ガ ス ト ロ ノ ミ ー ウ ー ク 実 行 委 員 会 負 担 金</p> <p>温泉を拠点として食・自然・歴史文化等の本市の魅力を徒歩で巡りながら体験する「ONSEN・ガストロノミーツーリズム」の推進に向けて、「ONSEN・ガストロノミーウォーキング in 会津若松」を開催し、国内外からの新たな観光誘客や情報発信、温泉地の魅力向上と活性化を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日 時：平成29年10月29日（日） 10：00～16：00 ・ 参 加 料：2,000円 ・ 参加者数：205名 ・ 開催場所：鶴ヶ城公園多目的広場～七日町～御薬園～東山温泉（約7km） (当日雨天によりコースを一部変更し、約5kmに短縮) ・ 他事業連携：会津ものづくりフェア、まちなかアートプロジェクトと共同開催 					

【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款		10款 教育費			
事業名		あいづっこ人材育成プロジェクト事業費			
担当課		学校教育課			
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	震災復興 特別交付税	その他	一般財源
16,244		16,244			
説 明					
○ 市民や民間企業との協働により、本物に出会い本物に学ぶ機会を創出し、忘れられない感動体験を通じ、子どもたちの豊かな心の育成を図ることができました。					
〔主な事業内容と効果〕					
1. 先輩アスリートから学ぶ～トップランナーへの道～ 実施日：平成29年5月28日 のべ参加人数：137名 ・陸上競技の第一線で活躍している監督や現役選手が直接指導することで、トップクラスのアスリートの走りに触れ、子どもたちの競技に対する意欲を育むことができました。					
2. グローバルな人間を目指して～ブリティッシュヒルズへGO～ 実施日：平成29年8月7日～8日 参加人数：39名 ・ブリティッシュヒルズでの研修を軸に、事前研修から事後の発表会までを一つのプログラムとして実施し、異文化に触れる機会を提供すると共に、語学の習得やコミュニケーション力の育成を図りました。					
3. 映画から学ぶ～感動をつくる仕事～ 〈映画制作ワークショップ〉 実施日：平成29年5月5日～7日 参加人数：12名 〈映画人による講演と関連作品の上映〉実施日：平成29年10月17日～26日 参加人数：1,482名 ・世界的に活躍する一流の監督とともに、ワークショップや講演、映画上映などを通して子どもたちが本物の映像文化に触れ、感性を高める機会を提供することができました。					
4. 基礎力アップ大作戦 実施期間：通年 のべ参加人数：7,355名 ・夏休みや放課後等の時間に、退職教職員や大学生等のサポートティーチャーによる個別指導を行い、きめ細やかな個に応じた指導をすることで、生徒たちの基礎力アップを図りました。					
5. 「はてな・ふしぎ」わくわく理数教室 実施日：平成29年7月～11月 参加人数：1,710名 ・著名な天文学者や最先端技術を有する企業の講師を迎え、理科の不思議さや天文学の楽しさを体験することにより、理科への興味や関心を高揚させるきっかけづくりができました。					
6. こころのふるさと会津～郷土を学ぶ～ 〈まなべこツアー〉 実施日：平成29年6月～平成29年9月 参加人数：996名 〈会津人に学ぶ〉 実施日：平成29年5月～平成30年3月 参加人数：311名 ・郷土の歴史研究者等を各小中学校に招き、会津の歴史を学ぶことで、身近な会津の歴史をより詳しく理解し、ふるさと会津に誇りを持たせることができました。また、市内の史跡を実際に目で見て体験する事業として、小学6年生全員を対象に、「会津若松市歴史資料センター（まなべこ）」を拠点とし院内御廟などの史跡を巡る「まなべこツアー」を実施しました。					
7. 会津ジュニア大使～会津の元気を全国に発信～ 実施日：平成29年8月7日～9日 参加人数：33名 ・中学生をゆかりの地（徳島県鳴門市）に派遣し、地元中学生との交流やグループでの発表を通して、全国に向けて会津の元気を発信することができました。また、この活動を通して中学生が改めて、ふるさと会津の良さと歴史の深さを認識することができました。					

【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	10款 教育費				
事業名	子どものことばの力・まなびの力育成事業費				
担当課	生涯学習総合センター				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	震災復興 特別交付税	その他	一般財源
4,956		4,956			
説 明					
<p>○ 「ことばの力」を使って子どもたちの思考力・判断力・表現力等を育み、優れた人材を育成するための読書活動事業に、ボランティアとの協働及び大熊町との連携のもと取り組みました。</p> <p>【主な事業内容と成果】</p> <p>1. 第4回会津図書館を使った調べる学習コンクールの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 応募作品数：54作品、参加小学校数：10校 ・ 表彰式及び作品展示会：平成29年11月25日（土） <p>本コンクールを推進するため、学校に対し、調べる学習支援のための「学校支援図書セット」の広報を行い、利用促進を図りました。また、公民館事業と連携して「調べる学習講座」を実施しました。</p> <p>市内の小学生を対象とし、図書館の本や情報を活用して調べた成果をまとめた作品を募集し、当コンクールにおいて18作品を表彰しました。入賞作品の中から全国コンクールへ推薦した2作品は、前年度よりも上位の優秀賞・日本児童図書出版協会賞と、佳作に入賞しました。</p> <p>また、大熊町の小学校と連携して入賞作品の合同展示会を開催し、広く事業展開を図りました。回を重ねるごとに内容の充実が図られ、子どもたちの調べる力の向上とともに、本を読み、深く考え、言葉を選び、自分の考えをまとめる能力の向上が図られました。</p> <p>2. 第4回会津ビブリオバトル（知的書評合戦）の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施日：平成29年8月11日（金・祝） <p>市内在学の中高生を対象に、本の魅力や感じた思いを発表することで、論理的思考力・表現力・プレゼンテーション能力の向上が図られました。発表者は、予戦では楽しく和気藹々と、決戦では一般公開のため、緊張の面持ちながらも工夫を凝らして発表しており、本を通じた人との交流や新たな読書活動が推進されました。</p> <p>また、図書館内においてバトル本を展示し、来館者から好評を得て貸出に繋がりました。</p> <p>3. 読み聞かせの推進</p> <p>健康福祉部と連携しながら、ボランティアとの協働により、4か月児健診会場において、「ブックスタート事業」を行い、読み聞かせとともに絵本の手渡しを実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ブックスタート事業における読み聞かせ 実施回数：33回 参加者数：親子数904組 ・ 赤ちゃんおはなし会 実施回数：23回 参加者数：のべ親子数135組 <p>4. 児童書・ティーンズ図書の充実</p> <p>子どもたちの読書活動を支援するとともに、凜としたあいつっこの育成のため、児童書及びティーンズ図書の充実を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 購入冊数：児童書1,442冊、ティーンズ図書1,126冊 					

【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	10款 教育費				
事業名	ひがし地域交流館活動事業費				
担当課	東公民館				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	震災復興 特別交付税	その他	一般財源
197		197			
説 明					
<p>○ 地域交流館～ひがしカフェ～</p> <p>〔目的〕 地域課題として挙げられていた高齢者や団塊の世代（特に男性）の外出促進のため、だれでも気軽に集まれる拠点づくりの一環として、東公民館の日本間を月2回定期的に開放し、交流の場を提供しました。また、共に楽しめるミニコンサートや落語会、健康維持のための軽体操、機器を用いた交通安全教室など、高齢者にとって身近な課題についての情報提供に努めたことで、多くの参加者を得ることができました。</p> <p>〔実績〕 平成29年度開催回数 24回 延べ参加者数 818名（1回あたり 約34名） 最終開催時登録者数 139名</p>					

【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	10款 教育費				
事業名	復興シンボル・スポーツイベント支援事業費 (鶴ヶ城ハーフマラソン大会実行委員会特別負担金)				
担当課	スポーツ推進課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	震災復興 特別交付税	その他	一般財源
7,500		7,500			
説 明					
<p>○ マラソンを通して、参加者相互の親睦を深めながら、体力の維持・向上及び健康増進を図るとともに、会津の復興を内外に示すためのシンボリックな事業と位置づけ、地域振興に資することを目的として開催しました。</p> <p>第29回大会は、過去最高の7,898名の申込があり、本市の魅力を内外に発信するとともに、スポーツ及び地域振興を図ることができました。</p> <p>実施大会名：鶴ヶ城ハーフマラソン大会 開催日：平成29年10月1日(日) 参加者数：7,898人(前回大会：6,984名) 参加状況：県外1,414人(前回1,250人)、 県内6,484人(前回5,734人) うち市内3,710人(前回3,347人)</p> <p><主な事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都マラソンと相互にランナー3名を派遣し合い交流を深めました。 ・ハーフの部は日本陸上競技連盟公認大会として開催しました。 ・大会当日に向けたランニング講習会を開催しました。 6回 計122名(中学生以上を対象に講習会を5回、ランイベントを1回開催) ・参加者向けの宿泊パック・高速バスチケット付き宿泊パックを設けました。 利用状況：市内旅館ホテル宿泊パック240名(前回248名) 完売 東山・芦ノ牧温泉宿泊パック 27名(前回58名) 高速バス宿泊パック30名(前回30名) 完売 ・前日レセプションを開催し、会津ならではのおもてなしで参加者を歓迎しました。 会津若松ワシントンホテルにて開催 75名参加(前回86名) ※県外39名(52%)、県内(市外)25名(33%)、市内11名(15%) ・あいづ食の陣と連携した取組を実施しました。 昨年に引き続き、第6給水所にて、市産ミニトマトを提供 加盟店の中から参加店舗を募り、前日・当日に特別地酒メニュー等を企画 (前日10店舗、当日2店舗) <p><前回からの改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・会津若松駅前と大会会場をつなぐシャトルバスの台数を増やし、参加者等の待ち時間短縮を図りました。 ・スタート地点の混雑緩和を図るため、スタッフの配置を見直し、スムーズな運営につなげました。 <p><広報活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内及び近県の大手スポーツ用品店や大手スポーツジムへ要項を送付しました。 ・大会ホームページ、SNS等を活用し、リアルタイムで大会情報を発信しました。 ・テレビ、新聞、ランニング雑誌等への広告掲載を行いました。 ・首都圏等で大会PR大使とともにPRイベントを開催しました。 ・市内小学校の運動会に参加し、PRを実施しました。 ・交通規制情報については、関係機関にチラシを配布するなど周知に努めました。 					

主要な施策の成果（特別会計）

会津若松市国民健康保険特別会計

2 款 保険給付費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳																																							
		国県支出金	地方債	その他	一般財源																																				
保険給付費 (国保年金課)	8,069,305	2,732,560		2,867,828	2,468,917																																				
説 明																																									
○ 国民健康保険法に基づく医療給付事業（現物給付・現金給付）を行い、被保険者の健康保持を図るとともに、高額療養費の給付により被保険者負担の軽減を図りました。 また、出産育児一時金の給付により妊産婦及び乳幼児の健康増進を図るとともに、葬祭費の給付を行うことで葬祭費用負担の軽減を図りました。																																									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">事業名</th> <th style="width: 30%;">内 訳</th> <th style="width: 30%;">金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般被保険者療養給付費</td> <td>現物給付</td> <td>6,859,652 千円</td> </tr> <tr> <td>退職被保険者等療養給付費</td> <td>現物給付</td> <td>155,137 千円</td> </tr> <tr> <td>一般被保険者療養費</td> <td>現金給付</td> <td>22,673 千円</td> </tr> <tr> <td>退職被保険者等療養費</td> <td>現金給付</td> <td>776 千円</td> </tr> <tr> <td>一般被保険者高額療養費</td> <td>現物・現金給付</td> <td>936,410 千円</td> </tr> <tr> <td>退職被保険者等高額療養費</td> <td>現物・現金給付</td> <td>24,591 千円</td> </tr> <tr> <td>移送費</td> <td>現金給付</td> <td>0 千円</td> </tr> <tr> <td>出産育児一時金</td> <td>93 件</td> <td>37,361 千円</td> </tr> <tr> <td>葬祭費</td> <td>191 件</td> <td>5,730 千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td>26,975 千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合 計</td> <td>8,069,305 千円</td> </tr> </tbody> </table>						事業名	内 訳	金 額	一般被保険者療養給付費	現物給付	6,859,652 千円	退職被保険者等療養給付費	現物給付	155,137 千円	一般被保険者療養費	現金給付	22,673 千円	退職被保険者等療養費	現金給付	776 千円	一般被保険者高額療養費	現物・現金給付	936,410 千円	退職被保険者等高額療養費	現物・現金給付	24,591 千円	移送費	現金給付	0 千円	出産育児一時金	93 件	37,361 千円	葬祭費	191 件	5,730 千円	その他		26,975 千円	合 計		8,069,305 千円
事業名	内 訳	金 額																																							
一般被保険者療養給付費	現物給付	6,859,652 千円																																							
退職被保険者等療養給付費	現物給付	155,137 千円																																							
一般被保険者療養費	現金給付	22,673 千円																																							
退職被保険者等療養費	現金給付	776 千円																																							
一般被保険者高額療養費	現物・現金給付	936,410 千円																																							
退職被保険者等高額療養費	現物・現金給付	24,591 千円																																							
移送費	現金給付	0 千円																																							
出産育児一時金	93 件	37,361 千円																																							
葬祭費	191 件	5,730 千円																																							
その他		26,975 千円																																							
合 計		8,069,305 千円																																							

3 款 後期高齢者支援金等

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳											
		国県支出金	地方債	その他	一般財源								
後期高齢者支援金等 (国保年金課)	1,526,951	683,425		774,516	69,010								
説 明													
○ 高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、後期高齢者医療制度に対して、医療費及び事務費等を拠出しました。													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">事業名</th> <th style="width: 60%;">金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後期高齢者支援金</td> <td>1,526,838 千円</td> </tr> <tr> <td>後期高齢者関係事務費拠出金</td> <td>113 千円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,526,951 千円</td> </tr> </tbody> </table>						事業名	金 額	後期高齢者支援金	1,526,838 千円	後期高齢者関係事務費拠出金	113 千円	合 計	1,526,951 千円
事業名	金 額												
後期高齢者支援金	1,526,838 千円												
後期高齢者関係事務費拠出金	113 千円												
合 計	1,526,951 千円												

6款 介護納付金

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳							
		国県支出金	地方債	その他	一般財源				
介護納付金 (国保年金課)	647,910	331,028			316,882				
説 明									
○ 介護保険法に基づき、介護納付金を支出しました。									
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護納付金</td> <td>647,910千円</td> </tr> </tbody> </table>						事業名	金額	介護納付金	647,910千円
事業名	金額								
介護納付金	647,910千円								

8款 保健事業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳																											
		国県支出金	地方債	その他	一般財源																								
保健事業費 (国保年金課)	116,875	43,019			73,856																								
説 明																													
○ 国民健康保険制度の更なる周知を図るため、国民健康保険証や高齢受給者証の更新時にあわせてパンフレットを送付しました。 食を通じた健康づくりの推進を図るため、野菜多め、塩分控えめのメニューを提供する店舗の取組を紹介するチラシを作成し、新聞折込により配布を行うことで、食に関する知識の普及と意識向上を図りました。 また、福島県保健衛生協会及び会津若松医師会に委託し、特定健康診査を実施しました。																													
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>内 容</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国民健康保険制度パンフレット購入</td> <td></td> <td>1,367千円</td> </tr> <tr> <td>食環境整備事業</td> <td>食育啓発チラシ新聞折込等</td> <td>860千円</td> </tr> <tr> <td>医療費等通知</td> <td></td> <td>4,124千円</td> </tr> <tr> <td>特定健診等委託（集団健診）</td> <td>受診者 3,092人</td> <td>31,030千円</td> </tr> <tr> <td>特定健診等委託（施設健診）</td> <td>受診者 6,817人</td> <td>60,353千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td>19,141千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td></td> <td>116,875千円</td> </tr> </tbody> </table>						事業名	内 容	金 額	国民健康保険制度パンフレット購入		1,367千円	食環境整備事業	食育啓発チラシ新聞折込等	860千円	医療費等通知		4,124千円	特定健診等委託（集団健診）	受診者 3,092人	31,030千円	特定健診等委託（施設健診）	受診者 6,817人	60,353千円	その他		19,141千円	合 計		116,875千円
事業名	内 容	金 額																											
国民健康保険制度パンフレット購入		1,367千円																											
食環境整備事業	食育啓発チラシ新聞折込等	860千円																											
医療費等通知		4,124千円																											
特定健診等委託（集団健診）	受診者 3,092人	31,030千円																											
特定健診等委託（施設健診）	受診者 6,817人	60,353千円																											
その他		19,141千円																											
合 計		116,875千円																											

会津若松市湊町簡易水道事業特別会計

1 款 水道事業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳												
		国県支出金	地方債	その他	一般財源									
簡易水道の維持管理に要する経費 (健康増進課)	8,587		4,600		3,987									
説 明														
○ 湊町下馬渡地区及び東田面地区において、市営による安全で安定的な飲料水・生活用水を供給することで、健康で快適な生活を送ることができるよう努めました。														
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>給水人口</td> <td>220人</td> </tr> <tr> <td>給水件数</td> <td>95件</td> </tr> <tr> <td>有収水量</td> <td>19,066m³</td> </tr> </table>						給水人口	220人	給水件数	95件	有収水量	19,066m ³			
給水人口	220人													
給水件数	95件													
有収水量	19,066m ³													
営繕費 (健康増進課)	526				526									
説 明														
○ 安心して飲める水を安定して供給するため、施設の修理を行いました。														
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">施設修理</td> <td style="width: 40%;">2件</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>・東田面地内漏水修理工事</td> <td></td> <td style="text-align: right;">70千円</td> </tr> <tr> <td>・東田面地内漏水修理工事</td> <td></td> <td style="text-align: right;">456千円</td> </tr> </table>						施設修理	2件		・東田面地内漏水修理工事		70千円	・東田面地内漏水修理工事		456千円
施設修理	2件													
・東田面地内漏水修理工事		70千円												
・東田面地内漏水修理工事		456千円												

会津若松市西田面簡易水道事業特別会計

1 款 水道事業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳																					
		国県支出金	地方債	その他	一般財源																		
簡易水道の維持管理に要する経費 (健康増進課)	7,357		4,600		2,757																		
説 明																							
○ 湊町西田面地区において、市営による安全で安定的な飲料水・生活用水を供給することで、健康で快適な生活を送ることができるよう努めました。																							
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>給水人口</td> <td>233人</td> </tr> <tr> <td>給水件数</td> <td>64件</td> </tr> <tr> <td>有収水量</td> <td>31,879m³</td> </tr> </table>						給水人口	233人	給水件数	64件	有収水量	31,879m ³												
給水人口	233人																						
給水件数	64件																						
有収水量	31,879m ³																						
営繕費 (健康増進課)	570				570																		
説 明																							
○ 安心して飲める水を安定して供給するため、施設の修理を行いました。																							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 150px;">施設修理</td> <td style="width: 100px;">2件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・積算電力計取付板修繕工事</td> <td></td> <td></td> <td>71千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・西田面原水サンプリング配管外修繕工事</td> <td></td> <td></td> <td>499千円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						施設修理	2件					・積算電力計取付板修繕工事			71千円			・西田面原水サンプリング配管外修繕工事			499千円		
施設修理	2件																						
・積算電力計取付板修繕工事			71千円																				
・西田面原水サンプリング配管外修繕工事			499千円																				

会津若松市観光施設事業特別会計

2 款 若松城天守閣費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
若松城天守閣管理運営費 (観光課)	45,318				45,318
説 明					
<p>○ 天守閣内に展示するための文化財を借用し、謝礼金を支出しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 報償費 2,124千円 ・ 文化財借用件数 31件 (101点) <p>○ 指定管理者である一般財団法人会津若松観光ビューローに対し、若松城の利用促進に係る委託料を支出しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 若松城天守閣等利用促進等業務委託料 31,387千円 <主な事業> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ・SNS等を活用したPR 平成29年度ホームページアクセス数：263,641件 ・ 旅行商品造成に向けた旅行エージェント訪問活動 訪問先：仙台市、関東全県、東海（名古屋・静岡）、大阪市等 総訪問数：761件 総訪問数：761件 ・ 誘客推進のための広告宣伝 特急リパティ会津運行に合わせた東武鉄道首都圏沿線駅へのポスター掲示 県内新聞の会津関連観光特集版への公告掲載、県内民放局へのスポットCM 県外新聞への広告及び登閣割引券の刷り込み 等 <p>○ 若松城内の毀損箇所等を修繕し、安全性や利便性の向上を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 若松城天守閣・走り長屋外壁修理工事 9,107千円 					
若松城天守閣干飯櫓改修事業費 (28~29年度継続) (観光課)	6,019	4,114			1,905
説 明					
<p>○ 若松城天守閣干飯櫓改修工事</p> <p>平成28年度からの継続事業として、震災の影響により破損した干飯櫓の漆喰壁面及び土壁について、改修工事を実施しました。 平成29年度においては土壁の塗り上げ、砂漆喰及び白漆喰の仕上げなどを行いました。また、東面軒先のひび割れの修繕を行いました。</p> <p>干飯櫓北側外壁修理工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工者 会津土建株式会社 ・ 工事請負費 5,748千円 <p>干飯櫓東面軒先修繕工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工者 伊東建設工業会社 ・ 工事請負費 265千円 					

3 款 若松城整備費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
若松城整備総務費（鶴ヶ城公園廊下橋改修工事） (観光課)	125,899			125,899	

説 明

○ 鶴ヶ城公園廊下橋改修工事

鶴ヶ城公園廊下橋は、前回の架設（昭和44年3月）から約50年が経過し、全面的に部材の腐朽が進み危険な状況であったことから、通行者の安全確保のため改修工事を実施しました。改修は以前と同じ形状の木造式方杖ラーメン橋として全面架け替えを実施しました。

〔工事概要〕

- ・ 橋梁設置工 N=1箇所（橋長L=19.1m、幅W=5.5m）
- ・ 国産檜で施工
- ・ 欄干（朱色）に会津産漆を使用。擬宝珠（金色）会津UV漆を使用
- ・ 敷板は、透明色で木材保護塗装を実施
- ・ 構造材は、黒色で木材保護塗装を実施
- ・ 施工者 会津土建株式会社



3 款 若松城整備費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
史跡若松城跡ライトアップ委託経費 (観光課)	14,905				14,905
説 明					
<p>○ 史跡若松城跡ライトアップ業務 史跡若松城跡の桜をはじめ、石垣やお濠、廊下橋などを、桜の開花期間に合わせ、節電に配慮したLED照明を使用してライトアップし、夜間の魅力創出による集客増を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期間 平成29年4月7日～5月7日 ・ 委託先 株式会社目黒工業商会 ・ 委託料 8,949千円 ・ ライトアップ点灯期間中の鶴ヶ城公園来場者数 256,932人 <p>○ 史跡若松城跡紅葉ライトアップ業務 秋の鶴ヶ城公園の魅力向上のため、紅葉期間に公園内のライトアップを実施して夜間の魅力創出に努めるとともに、会津若松観光ルネッサンス協議会のまちなかライトアップ事業と連携してPRを行い、集客増を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期間 平成29年10月20日～11月12日 ・ 委託先 株式会社目黒工業商会 ・ 委託料 5,956千円 ・ ライトアップ点灯期間中の鶴ヶ城公園来場者数 91,575人 					

会津若松市下水道事業特別会計

1 款 下水道事業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
建設改良事業費 (下水道課)	1,483,977	513,406	858,200	88,717	23,654

説明

- 汚水管整備等を実施することにより、供用区域の拡大に努めました。
また、浸水被害の軽減を図るため、大町1号雨水幹線及び小田1号雨水幹線の整備を行いました。

1. 整備面積

処理区	今年度 整備面積	累計 整備面積	全体 計画面積	面積 整備率
会津若松処理区	14.8 ha	1,577.7 ha	2,379.0 ha	66.3%
北会津北部処理区	0.0 ha	123.0 ha	123.0 ha	100.0%
河東処理区	31.3 ha	192.0 ha	216.0 ha	88.9%
合計	46.1 ha	1,892.7 ha	2,718.0 ha	69.6%

2. 主な事業

事業内容	事業概要	金額
(汚水)	北会津北部 浄化センター 建設工事委託	汚泥脱水設備増設 (H28～29) 36,500 千円
	管理設等工事	Φ100～500mm L=4,889.20m 762,242 千円
	その他の工事	公共汚水ます設置等 49,652 千円
	設計委託等	下水道管理設工事に伴う実施設計委託 57,986 千円
	補償費	水道管、ガス管及び電線路移転補償 22,484 千円
(雨水)	管理設等工事	□1400～800mm×1900～500mm L=432.20m 268,207 千円
	その他の工事	公共下水道管更生等 19,194 千円
	設計委託等	東山1号雨水幹線基本調査委託 4,536 千円 下水道管理設工事に伴う実施設計委託 8,133 千円
	補償費	水道管移転補償 14,311 千円
(長寿命化)	水処理施設更新 (H28～29)	73,000 千円
	下水浄化工場改築 工事委託等	受変電・建築電気設備更新 (H28～29) 45,740 千円
		汚水ポンプ設備更新 (H28～29) 43,060 千円
		その他の改築工事 9,552 千円
	管路長寿命化工事	公共下水道管更生等 33,009 千円
	設計委託等	下水浄化工場ストックマネジメント実施 計画作成委託 35,790 千円
補償費	ガス管移転補償 581 千円	

他に次年度への繰越 4,450千円

会津若松市地方卸売市場事業特別会計

1 款 地方卸売市場事業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
地方卸売市場事業費 (農政課)	90,095			55	90,040

説 明

- 市場運営の円滑化及び施設設備の長寿命化を目的に改修工事を実施しました。

工事名	金額
公設地方卸売市場シャッター改修工事	10,993 千円
公設地方卸売市場冷蔵庫・加工施設扉外改修工事	6,219 千円
合 計	17,212 千円

- 市場運営を通して、市民に対する生鮮食料品などの安定供給を図りました。
平成29年度の卸売に係る取扱実績は下記のとおりです。

[青果部] (単位：t)

区分	野菜	果実	加工	合計
地場	2,601	807	89	3,497
移入	9,655	4,323	546	14,524
小計	12,256	5,130	635	18,021

[水産物部] (単位：t)

区分	鮮魚	太物	塩干	加工	冷凍	冷食	食品	合計
移入	823	143	680	3,178	812	2,730	2,877	11,243

[花き部] (単位：千本・鉢)

区分	切花	枝物	鉢物	葉物	加工	その他	合計
地場	608	28	29	128	289	17	
移入	2,795	69	119				
小計	3,403	97	148	128	289	17	4,082

[関係業者]

卸売業者	・ 青果部 2社	・ 水産物部 2社	・ 花き部 1社
仲卸業者	・ 青果部 4社	・ 水産物部 3社	
関連事業者	7社		
附属機関	2社		

会津若松市扇町土地区画整理事業特別会計

1 款 土地区画整理事業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
扇町土地区画整理事業費 2 項 土地区画整理事業費 (区画整理課)	329,625	85,200	98,800	77,947	67,678

説 明

○ 土地区画整理事業の推進により、良好な住環境の整備に努めました。

1. 工事請負費

内 容	事 業 量	金 額	事業量累計	計画事業量	進捗率
区画道路	559.1m 内訳 幅員8m=132.4m 幅員6m=117.3m 幅員4m=309.4m	30,762千円	17,730.9m	17,969.8m	98.7%
宅地造成	47箇所 12,755.7㎡	57,046千円	76.1ha	82.7ha	92.0%
その他の工事 (仮設住宅解体・水路整備等)		65,411千円	—	—	—

2. 委託料

内 容	事業量	事業概要	金 額
測量及び設計業務	3件	街区・面地出来形確認測量及び公園 測量設計	52,117千円
物件調査及び補償額算定業務	2件	家屋調査及び補償額算定	1,875千円
区域内維持管理	6件	除雪及び道路等の維持管理	36,308千円

3. 補償補填及び賠償金

内 容	事業量	事業概要	金 額
物件移転補償等	48件	家屋、ブロック塀、排水切替及び電柱等	80,925千円

会津若松市農業集落排水事業特別会計

1 款 農業集落排水事業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
農業集落排水事業費 (下水道課)	15,569	6,000	3,100	1,503	4,966

説 明

- 平成27年度をもって整備は完了したところであり、平成29年度は、公共汚水ますの設置工事を行いました。
また、農業集落排水処理施設の長寿命化を図るため、次年度での最適整備構想策定に向けた機能診断調査を実施しました。

1. 主な事業

事業内容	事業概要	金額
公共汚水ます設置工事	N=3箇所	3,289千円
機能診断調査業務委託	3処理区（宮木・上米塚・北会津西部）	6,912千円
その他委託	公共基準点復元測量等	1,138千円

会津若松市介護保険特別会計

2 款 保険給付費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
保険給付費 (高齢福祉課)	10,000,724	4,046,197		2,792,356	3,162,171
説 明					
<p>○ 介護サービス等諸費 介護保険法に基づき、要介護者に対して介護給付事業を実施し、被保険者の福祉の向上を図りました。 ・ 保険給付額 9,123,627千円</p> <p>○ 介護予防サービス等諸費 介護保険法に基づき、要支援者に対する予防給付事業を行い、被保険者の保健医療の向上、福祉の向上を図りました。 ・ 保険給付額 241,986千円</p> <p>○ 高額介護サービス等費 高額介護サービス費を給付し、被保険者負担の軽減を図りました。 ・ 保険給付額 196,993千円</p> <p>○ 高額医療合算介護サービス等費 介護保険と医療保険の高額負担者に対して、高額医療合算介護サービス費を給付し、被保険者負担の軽減を図りました。 ・ 保険給付額 22,705千円</p> <p>○ 諸費 ・ 審査支払手数料 8,380千円</p> <p>○ 特定入所者介護サービス等費 施設入所者の居住費と食費の自己負担分に関して、低所得の入居者に対して補足給付を行うことにより負担の軽減を図りました。 ・ 保険給付額 407,033千円</p>					

3 款 地域支援事業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
地域支援事業費 (高齢福祉課)	639,297	271,359		117,029	250,909
説 明					
○ 介護予防・日常生活支援総合事業費					
<p>平成29年度より、介護予防・日常生活支援総合事業として、要介護、要支援状態とならないよう要支援者等を対象とした介護予防・生活支援サービス事業と、すべての高齢者を対象とした一般介護予防事業を実施し、介護予防に取り組みました。</p>					
<p>① 介護予防・生活支援サービス事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1号訪問・通所等事業費 423,526千円 ・ 高額介護予防サービス費相当等事業費 340千円 					
<p>② 一般介護予防事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護予防教室 465回開催 ・ 介護予防講座 109回開催 ・ 地域リハビリテーション活動支援事業 実施団体数 6団体 					
○ 包括的支援事業・任意事業費					
<p>高齢者が住み慣れた地域で安心して生活が継続できるよう、様々な事業を実施するとともに、7ヶ所の地域包括支援センターに相談業務や介護予防ケアマネジメント業務等を委託し、福祉や健康の増進を図りました。</p>					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括支援センター事業 のべ相談件数 50,444件 ・ 寝たきり高齢者等紙おむつ等給付事業 給付者 959人 ・ 高齢者福祉相談員事業 訪問対象世帯 2,789世帯 ・ 訪問給食サービス事業 食数 41,994食 ・ 認知症サポーター養成講座 参加者 1,489人 ・ 認知症外出見守りシステム事業 利用者 32人 					

会津若松市個別生活排水事業特別会計

1 款 個別生活排水事業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
個別生活排水事業費 (下水道課)	125,682	26,911	88,800	7,112	2,859

説明

- 浄化槽による生活排水処理を推進する地域において、計画的な整備を図るため、市が設置主体となり浄化槽の整備を行いました。

・主な事業

事業内容	事業概要	金額
浄化槽設置工事	47基 (内訳) 5人槽 8基 7人槽 35基 10人槽 4基	118,908 千円

会津若松市三本松地区宅地整備事業特別会計

1 款 宅地整備事業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
三本松宅地整備事業費 (都市計画課)	9,308				9,308

説 明

- 北会津地域の均衡ある発展と地元経済の活性化のための住宅地分譲事業であり、平成20年度に完売した分譲地の維持管理等を行い、良好な宅地環境の向上に努めました。
また、旧第3工区に山積みされている土砂の利活用に向け、汚染状況等の調査を行いました。

・ 委託料

内 容	業務内容	金 額
地質調査業務委託	ヒ素及びフッ素土壌溶出量・含有量等の調査	7,992千円
除草業務委託	旧第3工区の除草	195千円
水質検査業務委託	旧第3工区及びその下流周辺の水質検査	303千円

会津若松市後期高齢者医療特別会計

2 款 後期高齢者医療広域連合納付金

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
後期高齢者医療広域連合納付金 (国保年金課)	1,203,981				1,203,981

説 明

- 福島県後期高齢者医療広域連合により運営されている後期高齢者医療制度の円滑な受診環境整備のため、広域連合に対し、保険基盤安定負担金及び保険料を納めました。

事業名	金額
後期高齢者医療保険基盤安定負担金	315,504 千円
後期高齢者医療保険料等負担金	888,477 千円
合 計	1,203,981 千円

平成29年度 基金運用状況報告書

平成29年度の基金の運用状況について、地方自治法第241条第5項の規定により提出する。

平成30年9月6日

会津若松市長 室井照平

平成 29 年 度 会津若松市板橋好雄奨学資金貸与基金運用状況

この基金は、地方自治法第241条第1項の規定に基づき、板橋好雄氏からの寄付金を奨学金に充てることを目的として設置したものでありますが、平成29年度の運用状況は次のとおりです。

○板橋好雄奨学資金貸与基金

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	5,012,844 円	△ 461,501 円	4,551,343 円
貸 付 金	6,873,000 円	462,000 円	7,335,000 円
そ の 他	0 円	0 円	0 円

○第1表

年 度	基金積立状況		前期末基金 現金残高	基金貸付返還状況				貸付返還後の 基金現金残高	貸付金 現在高
	年 月 日	基金総額		貸 付		返 還			
				件数	金 額	件数	金 額		
21	22.3.31 現 在	円 11,870,195	円 9,704,897	件 0	円 0	件 22	円 870,000	円 10,585,195	円 1,285,000
22	23.3.31 現 在	円 11,875,033	円 10,585,195	件 4	円 2,000,000	件 20	円 255,000	円 8,845,033	円 3,030,000
23	24.3.31 現 在	円 11,877,750	円 8,845,033	件 2	円 1,000,000	件 19	円 170,000	円 8,017,750	円 3,860,000
24	25.3.31 現 在	円 11,879,767	円 8,017,750	件 2	円 1,000,000	件 16	円 195,000	円 7,214,767	円 4,665,000
25	26.3.31 現 在	円 11,881,599	円 7,214,767	件 2	円 1,000,000	件 26	円 232,000	円 6,448,599	円 5,433,000
26	27.3.31 現 在	円 11,883,285	円 6,448,599	件 2	円 1,000,000	件 23	円 737,000	円 6,187,285	円 5,696,000
27	28.3.31 現 在	円 11,884,871	円 6,187,285	件 2	円 1,000,000	件 37	円 346,000	円 5,534,871	円 6,350,000
28	29.3.31 現 在	円 11,885,844	円 5,534,871	件 2	円 1,000,000	件 53	円 477,000	円 5,012,844	円 6,873,000
29	30.3.31 現 在	円 11,886,343	円 5,012,844	件 2	円 1,000,000	件 59	円 538,000	円 4,551,343	円 7,335,000

○第2表

年月日	基金管理状況					備考
	現金	銀行預金	貸付金	その他	現金運用	
29.4.1	円 0	円 5,012,844	円 6,873,000	円 0	円 0	基金総額 11,885,844円
29年4月	0	5,054,844	6,831,000	0	0	貸付 0件 0円 返還 6件 42,000円
29年5月	0	5,101,844	6,784,000	0	0	貸付 0件 0円 返還 5件 47,000円
29年6月	0	5,123,844	6,762,000	0	0	貸付 0件 0円 返還 3件 22,000円
29年7月	0	5,177,844	6,708,000	0	0	貸付 0件 0円 返還 6件 54,000円
29年8月	0	5,195,844	6,690,000	0	0	貸付 0件 0円 返還 3件 18,000円
29年9月	0	5,285,093	6,601,000	0	0	貸付 0件 0円 返還 5件 89,000円 定期預金預け入れ 利子分 249円
29年10月	0	5,337,093	6,549,000	0	0	貸付 0件 0円 返還 6件 52,000円
29年11月	0	5,384,093	6,502,000	0	0	貸付 0件 0円 返還 6件 47,000円
29年12月	0	5,414,093	6,472,000	0	0	貸付 0件 0円 返還 4件 30,000円
30年1月	0	5,464,093	6,422,000	0	0	貸付 0件 0円 返還 5件 50,000円
30年2月	0	5,521,094	6,365,000	0	0	貸付 0件 0円 返還 6件 57,000円 普通預金預け入れ 利子分 1円
30年3月	0	4,551,343	7,335,000	0	0	貸付 2件 1,000,000円 返還 4件 30,000円 定期預金預け入れ 利子分 249円
30.3.31	0	4,551,343	7,335,000	0	0	30年3月末板橋好雄奨学資金貸与基金 現在高 11,886,343円